

生態人類学は挑む MONOGRAPH 5
バナナの生態人類学

小松かおり 著

A5判並製 300頁 予価：本体3000円+税
 ISBN978-4-8140-0368-6 C3339

刊行予定：2021年9月中旬 条件：新刊委託
 読者対象：専門
 おすすめの棚：生態人類学
 おすすめ度：★★★★☆

◎なぜかくも多様なのか？ 農の原点へと誘う旅

遊びをせんとや生まれけむ——主食でありデザートであり勝手に生える雑草みたいなものであり、酒にも薬にもなる、融通無礙なるバナナ。付き合い方は世界でこんなに違っているのに、どうしてこんなに愛されるのか？ アフリカ・南米・ニューギニアそして沖縄。バナナを通して食と農をみつめてきた筆者が辿りついた「遊び」という農の原点。

◆小松かおり：北海学園大学人文学部教授

学術選書 099
色を分ける 色で分ける

日高杏子 著

四六判並製 288頁 予価：本体2200円+税
 ISBN978-4-8140-0370-9 C1370

刊行予定：2021年9月上旬 条件：新刊委託
 読者対象：一般
 おすすめの棚：芸術、デザイン、選書
 おすすめ度：★★★★☆ 配本ランク：★★☆

◎赤は湯で青は冷水——色彩分類の論理とは

虹は7色、赤はお湯で青は冷水。私たちは日々の生活の中で当然のように色を分け、また色を使って物事を分類している。しかし虹の色を2色に分ける文化もある一方で、色彩に寒暖を覚える感覚はあまたの文化を超えて共通するらしい。一体なにがこの普遍性と多様性を分けるのだろうか。色彩文化の観点から人間の色の分類の論理を紐解く。

◆日高杏子：芝浦工業大学デザイン工学部准教授

注文書 7月号① お申込みは→ 京都大学学術出版会 FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【生態人類学は挑む MONOGRAPH】 バナナの生態人類学 【8/30 締切】 ISBN 978-4-8140-0368-6 C3339 予価：本体 3000 円+税
番線印	冊	注文扱返条付	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【学術選書】 色を分ける 色で分ける 【パターン上積】 ISBN 978-4-8140-0370-9 C1370 予価：本体 2200 円+税